



鹿児島県言語聴覚士会ニュース

今号目次

巻頭言

1-2ページ

新人紹介

3-4ページ

事務局通信

5-8ページ

学術局(成人)

9ページ

学術局(小児)

10ページ

学術局(生涯学習)

11ページ

学術局(新人教育)

12ページ

地域局 (始良・霧島地区担 当)

13ページ

社会局 (地域リハ・広域)

14ページ

社会局 (地域リハ・市内)

15ページ

社会局 (公共事業・保険)

16ページ

社会局(広報局)

17ページ

財務局

18ページ

編集男誌

巻頭言

一般社団法人 鹿児島県言語聴覚士会
学術局 生涯学習担当 尾崎幸平

平素より鹿児島県言語聴覚士会の活動にご参加頂き誠にありがとうございます。
鹿児島県では、地震や大雨による影響等、今年は災害の多い夏、そして暑い夏でもありました。被害にあわれた方々には心よりお見舞い申し上げます。

生涯学習担当理事として、5年が経過しようとしている尾崎です。生涯学習担当の活動として、昨年までは基礎講座を年2回滞りなく開催していき、基礎講座を受ける重要性を広報してきたつもりです。しかし、今年度よりご周知の方も多いたと思います。鹿児島県の「言語聴覚士臨床実習指導者講習会」が生涯学習担当業務として舞い込んできました。なぜ生涯学習担当がこの臨床実習指導者講習会を担当するのかにまずはお答えできればと思います。

昨年、私は臨床実習指導者講習会に参加し、学生教育の為だけでなく、自らの成長に繋がる講習会と確信しました。時間は2日間みっちりありますが、現在臨床現場でも問題が多い、後進の育成やハラスメント防止を学べる重要な講習となります。特に私は後輩の指導方法に悩むことが多い経験年数となり、この講習により皆が同じ悩みをかかえていることを知り、多くの教育方法を学ぶことができました。グループワークも多く用意されており、先輩方のファシリテーション能力や会議の進行方法等、その他学べるものが盛り沢山となっております。まさに生涯学習です。

ここで、臨床実習指導者講習会について、以下に説明をさせていただきます。

言語聴覚士養成教育は養成校指定規則の改正に伴い、今後、臨床実習指導者として実習生を指導をするにあたり、厚生労働省の定めた要件を満たす臨床実習指導者講習会の受講・修了が定められました。

鹿児島県におきましては、鹿児島県の将来を担う言語聴覚士の養成とともに就業している言語聴覚士の職業能力向上につなげるため、鹿児島県言語聴覚士会、鹿児島第一医療リハビリ専門学校、鹿児島医療技術専門学校の3者協同で、鹿児島県での講習会を開催しております。

鹿児島県では、令和7年9月6日(土)・7日(日)に臨床実習指導者講習会を初めて開催するにあたり、様々な方にご協力を得て、無事に終了することができました。本当にありがとうございます。私は1日目に世話人、2日目に講師とZOOM

確認者として参加致しました。スケジュールを見て頂ければ分かりますが、「時間が長い(笑)」そして「為になる」が昨年受講した時と同様、率直な感想です。

また、この研修会開催に辿り着くまで鹿児島県の言語聴覚士学校養成所の学科長を中心に何度も会議を繰り返し、準備をして参りました。終わってほっとする半面、今からの学生(現1年生)が新カリキュラムの開始ともなっており、体制を整えなければなりません。言語聴覚士の未来の為にも5年目以上の方は是非次年度予定の講習会参加をお願い致します。

今回は、**令和7年12月6日(土)・7日(日)**の「言語聴覚士臨床実習指導者講習会」を予定しています。すでに定員となり、大変ご迷惑をお掛けしましたことをお詫び致します。鹿児島県では、令和9年の実習(2月評価実習)から講習会受講・修了している方が実習指導を行うこととなります。実習を受け持つ方は、次年度(令和8年度)までの「言語聴覚士臨床実習指導者講習会」の受講をお願い致します。次年度は定員や募集方法等を検討し、より良い運営ができるよう準備を進めて参りますので、ご案内をお待ち頂けたら幸いです。

一般社団法人 鹿児島県言語聴覚士会
学術局 生涯学習担当 尾崎幸平



新人紹介

特定非営利活動法人にし
こども発達相談センターにしいろ 有島 未結

私は令和7年3月に鹿児島第一医療リハビリ専門学校を卒業し、4月より、鹿屋市にあります、特定非営利活動法人にしこども発達相談センターにしいろに勤務しております。

当法人は鹿児島県内で初めて言語聴覚士が立ち上げた事業所であり、保育士、児童指導員、作業療法士、言語聴覚士など、専門的支援の実施に尽力しております。様々な資料・教材や検査道具が取り揃えられていることや、毎年の東京研修、1ヶ月に一度の療育会議の実施など、職員の学びの場も多くあります。特に、療育会議では、姉妹事業所であるこども発達相談センターみんなのおうちとリモートで繋ぎ、今月行った小集団グループの活動についてパワーポイントを作成し、活動のねらいや流れ、活動時の様子や反省について両事業所で話し合います。自分の専門分野の垣根を超え、様々な専門職が意見・質問しあうこの時間は学びが多く、とても有意義な時間になっています。また、近隣の市町村でのことばの相談会や親子教室を担当し、早期療育のための活動も行っています。

入職してからの5ヶ月間は、日々の業務に慣れることに必死で思うように勉強の時間を取れていませんでしたが、にしいろの先生方のサポートやアドバイスもあり、疑問に思ったことを本や文献を探して療育へ活かすことが出来るようになってきました。しかし、子どもさんとの信頼関係が十分に築けていなかったり、座って言語課題に取り組むことに難しさがあったりなど、様々な要因で思うように療育を進められないことがあります。自分なりの答えをみつけ療育に取り入れてみるのですが、「もっと出来ることがあるのではないかと」と頭を悩ませながら子どもたちと向き合うことがあります。その子の困り感にあったプログラムを立てる専門的な知識はもちろん、訓練の目的はそのままに、その子の性格や特性に応じて臨機応変に訓練の手段を思いつく発想力も必要なのではないかと思いました。楽しくかつ分かりやすく子どもさんが訓練に取り組めるよう、まずは私自身が様々な遊び方を知り、子どもさんと同じ目線で療育に取り組む姿勢を大事にしようと思うようになりました。

今後も自分の専門の分野にとらわれることなく様々なジャンルの情報に触れ、たくさんの価値観を知ることで発想力を養い、日々の療育にそれらを発揮できるようにしていきたいです。そして、保護者様と子どもさんが安心して生活を送ることができ、成長をともに喜ぶことができるような言語聴覚士になりたいです。

新人紹介

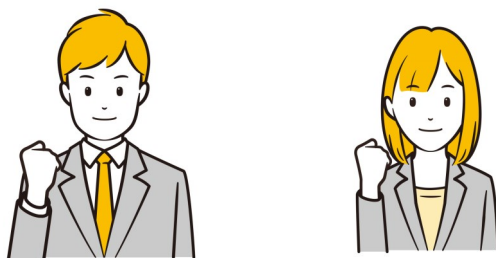
厚地リハビリテーション病院
若松 篤哉

私は令和7年3月に鹿児島医療技術専門学校を卒業し、現在鹿児島市照国町にある医療法人慈風会 厚地リハビリテーション病院に勤務しております。当院は、現在病棟の54床すべてを回復期病棟とし、主に脳卒中急性期治療を終えた亜急性期から回復期の患者様にリハビリテーションを提供しております。私は、「一人一人の命を大切に愛情・情熱・熱意をもって臨み、信頼される良質な医療を目指します。」という当院の理念の下で、日々臨床業務に励んでおります。

入職当初は、学生時代に得た知識や経験だけで患者様の病態把握やそれに対する適切なアプローチなどを考える事は難しく、自身の未熟さを痛感しました。しかし、先輩方から「1年目なんだから1人で考え込まないで何でも相談していいんだよ。」と声をかけていただき、報告・連絡・相談に努め多くの疑問や不安を解決する事が出来ました。

現在入職してから、はや半年が経とうとしています。日々患者様の機能が少しずつ改善されていくのを実感し喜びを感じる反面、自身のアプローチが本当に適切なのか、先輩方が担当したらもっと良くなったのではないかなど悩みは尽きません。また、ひとつの症状に対し患者様の意向や転帰先によって求められる目標がそれぞれ異なり、限られた時間の中で患者様の全体像を適切に把握し対処する難しさを感じております。

臨床現場を通して感じた悩みや難しさは、今後も無くならないと思います。しかし、自身の状態を受け入れられず不安や悩みを抱えている患者様の前では、自信を持って接し少しでも頼っていただけるよう努めなければなりません。その為に日々の自己研鑽を怠らず、自分自身に満足せず、質の良いリハビリテーションを提供出来るよう努めていきたいと思います。



事務局通信

4月

- ・ 会員動向について協議され承認された。
- ・ 指宿市発達相談会講師派遣について協議され、菊野病院に依頼することとした。
- ・ 鹿児島圏域リハビリテーション施設協議会委員選出に関して協議され、湯田理事を選出した。
- ・ 鹿児島市中心身障害者総合福祉センターことばの発達指導事業言語聴覚士派遣に関して協議され、発達部会部員より選出することとした。
- ・ 定時社員総会に関して協議され、スケジュールについて承認された。
- ・ 研修会等のLINE配信について協議され、原則月末等に配信することとした。
- ・ 原田学園学校関係者委員会、教育課程編成委員会委員について協議され、任期まで小倉理事とすることとした。
- ・ 発達部会委員の交代について協議され、承認された。
- ・ 令和7年度生涯学習基礎講座について下期のみ実施することとした。
- ・ 市民健康まつり協力団体依頼について承認された。
- ・ 北薩地区症例検討会開催について承認された。
- ・ 南薩地区勉強会開催について承認された。
- ・ ST所属施設マップ更新について承認された。
- ・ 失語・認知・高次脳機能部会の名称を高次脳機能部会に変更することとした。
- ・ 会議費について協議され、30分程度会議より会議費として申請可とした。
- ・ 鹿児島県介護実習・普及センター依頼関連について報告があった。
- ・ 専門職アドバイザー事業（中種子町）について報告があった。
- ・ 鹿児島市お達者クラブについて報告があった。
- ・ ホームページ掲載（広報）について報告があった。
- ・ 県士会ニューズペーパー進捗について報告があった。
- ・ 新人教育研修会進捗状況について報告があった。
- ・ 臨床実習指導者講習会進捗状況について報告があった。
- ・ 訪問リハ実務者研修会について報告があった。
- ・ 失語症者支援者養成について報告された。
- ・ 令和7年度聴覚障害児支援事業について報告があった。
- ・ 全国協会連携体制構築担当者会議について報告があった。
- ・ 鹿児島高次脳機能研究会について報告があった。
- ・ 始良地区歯科医師会学会・講師打診について報告があった。

5月

- ・ 会員動向について協議され承認された。
- ・ 総会各種担当について協議され承認された。
- ・ 令和7年度 地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成事業 初期研修の講師費について協議された承認された。
- ・ 令和7年度鹿児島県言語聴覚士会講習会参加者及び担当者について協議され承認された。
- ・ 臨床実習指導者講習会講師・ファシリテーター費について協議され、原則鹿児島県理学療法士協会規定と同様とするが、適宜検討する旨承認された。
- ・ 地域局鹿児島地区の協力員について承認された。
- ・ 予定されていた北薩地区症例検討会について、希望者がいなかったため事例検討会に変更する旨承認された。

事務局通信

- ・ST所属施設マップの案内を総会時に行うこととした。
- ・会計ソフトをバージョンアップ（サポート終了のため）することとした。
- ・令和7年度 地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成事業 初期研修進捗状況が報告された。
- ・鹿児島市お達者クラブについて報告がされた。
- ・ホームページ掲載（広報）について報告がされた。
- ・新人教育研修会進捗状況について報告がされた。
- ・臨床実習指導者講習会進捗状況について報告がされた。
- ・市民健康まつり進捗状況について報告がされた。
- ・南薩地区勉強会進捗状況について報告がされた。
- ・全国協会活動支援金申請について報告がされた。
- ・失語症者支援者養成について報告がされた。
- ・鹿児島県理学療法士作業療法士言語聴覚士連絡協議会関連について報告がされた。
- ・令和7年度「介護予防地域ケア会議」における助言者の推薦について報告がされた。
- ・令和7年度鹿児島県在宅医療・介護連携に関する取組スケジュールを提出について報告がされた。

6月

- ・会員動向について協議され承認された。
- ・福岡県言語聴覚士会設立25周年記念誌祝辞に関して竹中会長が行うこととした。
- ・福岡県言語聴覚士会設立25周年記念式典・祝賀会参加者に関して協議され、三役にて検討することとした→竹中会長が参加。
- ・南九州市「ヒヤリングフレイイル講座講師派遣」に関して協議され、継続審議となった。
- ・第7回日本再生医療とリハビリテーション学会学術大会後援に関して協議され、後援することとした。
- ・快護フェス！2025福祉機器展&セミナー in かがしま後援に関して協議され、後援することとした。
- ・快護フェス！2025福祉機器展&セミナー in かがしま 講師派遣に関して協議され松尾理事が担当することとした。
- ・当士会関連の研修会ホームページ掲載担当について協議され、大島理事が担当することとした。
- ・ホームページに当士会組織図を掲載することとした。
- ・鹿児島JDDの当士会担当者について協議され、発達部会で引き続き検討することとした。
- ・当士会研修会参加区分について協議され、区分A～Cとすることとした。
- ・当士会主催研修会の講演料・報酬金額について協議され継続審議となった。
- ・小児研修会企画案について協議され承認された。
- ・聴覚部会研修会企画について協議され承認された。
- ・臨床実習指導者講習会案内文および経費について協議され承認された。
- ・鹿児島地区症例検討会企画について協議され承認された。
- ・市民健康まつりスタッフ謝金について協議され継続審議となった。
- ・北薩地区員増員について協議され承認された。
- ・ST所属施設マップについて協議され、新規分を更新することとした。
- ・糸賀一雄記念賞記念未来賞候補について協議され、候補者なしとした。

- ・士会協会間の連携体制構築に関わるアンケート回答案について協議され承認された。
- ・理事会開催について定期的に対面方式も行うこととした。
- ・令和7年度 地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成事業 初期研修進捗状況が報告された。
- ・鹿児島市お達者クラブについて報告がされた。
- ・R7年度ブラッシュアップ研修（POS連絡協議会主催）について報告された。
- ・ホームページ掲載（広報）について報告があった。
- ・R7年度 鹿児島県介護実習・普及センター介護講座について報告がされた。
- ・発達部会の報告がされた。
- ・第26回新人教育研修会進捗状況が報告された。
- ・北薩地区勉強会進捗状況が報告された。
- ・南薩地区勉強会開催について報告された。
- ・会費引き落としについて報告がされた。
- ・災害対策部活動報告がされた。

7月

- ・会員動向について協議され承認された。
- ・南九州市「ヒヤリングフレイル講座講師派遣」について櫻井氏を講師推薦することとした。
- ・かごしま言友会「第3回かごしま吃音のつどい」後援依頼について協議され後援することとした。
- ・初期研修開催に伴う事前打ち合わせに関する会議費について協議され承認された。
- ・当士会主催研修会の講演料・報酬金額について協議され継続審議となった。
- ・小児研修会企画について協議され承認された。
- ・島嶼地域会員の口座登録のお願いについて協議され承認された。
- ・理事以外の部局員名簿作成について協議され承認された。
- ・失語症支援者養成委員会委員長交代について協議され、原口氏を委員長にすることとした。
- ・鹿児島市お達者クラブについて報告がされた。
- ・ホームページ掲載（広報）について報告があった。
- ・R7年度 鹿児島県介護実習・普及センター介護講座について報告がされた。
- ・人材育成事業初期研修について進捗状況が報告された。
- ・県士会ニュース企画について報告があった。
- ・言語聴覚の日イベントについて進捗状況が報告された。
- ・高次脳機能部会主催研修会進捗状況について報告された。
- ・小児研修会進捗状況が報告された。
- ・新人教育研修会進捗状況が報告された。
- ・北薩地区勉強会延期について報告された。
- ・南薩地区勉強会について報告された。
- ・訪問リハステップアップ研修会について報告された。
- ・九州地区学術集会WGについて報告された。
- ・都道府県士会会長会議について報告された。
- ・鹿児島JRAAT総会および災害協定調印式について報告された。

8月

- ・会員動向について協議され承認された。

- ・第17回鹿児島県摂食嚥下リハビリテーション研究会後援について協議され後援することとした。
- ・令和7年度第1回聴覚障害児支援事業「支援者・家族交流会」言語聴覚士派遣依頼について協議され発達部会にて選出することとした→有村氏。
- ・推進リーダー研修参加要件について協議され更新する旨承認された。
- ・ホームページプログラムについて変更することとした。
- ・聴覚部会研修会における聾学校教員の参加について協議され、参加について承認として、参加費に関しては継続審議とした。
- ・小児研修会について協議され継続審議とした。
- ・令和8年度学術講習会の選定について協議され継続審議とした。
- ・北薩地区交流会兼勉強会企画案について協議され承認された。
- ・大隅地区症例検討会企画案について協議され承認された。
- ・各種スタッフ御礼について協議され、金券（クオカード）にて御礼をすることとした。
- ・鹿児島市お達者クラブについて報告がされた。
- ・ホームページ掲載（広報）について報告された。
- ・県土会ニュースについて報告された。
- ・R7年度 鹿児島県介護実習・普及センター介護講座について報告がされた。
- ・人材育成事業初期研修について進捗状況が報告された。
- ・聴覚部会研修会進捗状況について報告された。
- ・新人教育研修会進捗状況について報告された。
- ・臨床実習指導者講習会準備会議について報告された。
- ・北薩地区会議開催について報告された。
- ・会費の引き落としについて報告された。
- ・鹿児島JRATの研修会について報告された。
- ・鹿児島訪問リハビリテーション研究会について報告された。
- ・失語症支援者養成委員会について報告された。
- ・協会からの鹿児島県大雨に対するお見舞いならびに災害見舞金連絡について報告された。

2025年8月理事会承認分まで



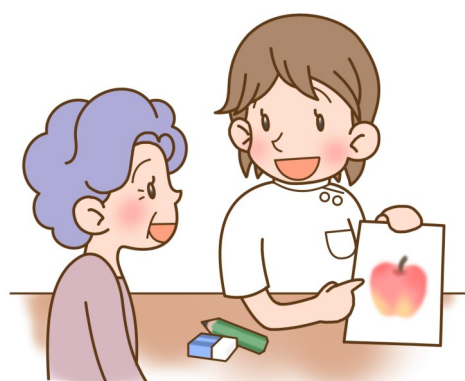
学術局 (成人)

今期より、社会局 地域リハ広域担当から学術局（成人）に異動となりました。

7月4日に行われた高次脳機能部会研修会では、江戸川病院の中川良尚先生をお招きし、「失語症の長期経過と訓練アプローチ」について、ご講話いただきました。多数のデータに基づいた長期経過や予後予測を分かりやすく丁寧にご説明いただき、質疑応答も活発に行われました。オンライン開催での今回は、これまでで初めて100名を超える皆さんに申し込みをいただきました。

今年度は、2026年1月25日、聴覚部会研修会にて補聴器診療に関わる研修会が予定されています。臨床現場において、難聴を有しているが特に対策をされていない対象者、補聴器を装用しているが聴力に合った調整ができていない対象者など、身近にいらっしゃるのではないのでしょうか。「しっかり補聴器装用できれば、日常のコミュニケーションがもっと円滑に行えるのに、どのように対応すればいいのだろう？」と感じている会員の皆さんには、是非参加をご検討いただきたいと思います。

研修会で取り上げてほしいテーマや講師の先生などご希望がございましたら、お気軽に下記までご連絡いただけますと幸いです。今後も会員の皆さんが興味関心の高い研修会を企画し、共に学び、鹿児島県STの資質向上を図りたいと考えています。



鹿児島大学病院 医療技術部
リハビリテーション部門 川路 勇太
【Mail】 k6717465@kadai.jp

学術局 (小児)

今年の夏は、日本の最高気温が「41.8℃」と記録を更新し、全国では40度を超える日も何日もあり、「35℃」と聞くとなんだか涼しくすら感じるくらい暑い日が続きました。また、鹿児島では8月に大雨と台風による被害など、自然の驚異と怖さを改めて感じました。

猛暑が続いた中でも、会員の皆さんは旅行をはじめ、六月灯に花火大会、プール、キャンプ、お祭り、家族や親戚との集まりや再会など楽しい夏の思い出をつくることはできたでしょうか？（私も今年は3回プールに行き、はしゃぎました）

小児学術局では、7年程前より「鹿児島発達STネットワーク」のLINEを活用し、研修会やイベントの案内、また会員同士の情報交換の場として利用いただいています。開始当初に比べ参加者も随分と増えていますが、小児に限らず成人領域を対象にしている方や小児に興味がある方など、どなたでも参加可能ですので、ぜひ迷っている方はいつでもご参加下さい！（招待など不明な点がございましたら、小児学術局担当 松永までご連絡いただければ対応致します。）

小児研修会では、11月30日（日）に鹿児島医療技術専門学校で「医療的ケア児におけるSTの対応」をテーマに、医療法人 菊野会 菊野病院の池上敏幸先生とさつま訪問看護ステーション谷山の太田和彦先生を講師として研修会を予定しています。STとしての医療的ケア児に必要な知識や留意点、関わり方など、講義だけでなく実技も交えて行います、実技を交えた研修会は少ないですので、ぜひ医療的ケア児や重症心身障害児に関わっている方だけでなく、多くの方の参加をお待ちしています！！

また、令和8年2月には、発達部会主催で公認心理士・臨床心理士の先生を講師としてお招きし、研修会や会員同士の座談会、交流会なども企画しているようですので、同僚や友達、同期の方々などをお誘いの上、ぜひご参加下さい！
詳細が決まりましたら、LINE等でもお知らせしますので多くのご参加をお待ちしています！

学術局 小児学術担当
ことばの相談室みかんの樹
松永宏行



学術局 (生涯学習)

平素より鹿児島県言語聴覚士会の活動にご参加・ご協力頂き、誠にありがとうございます。

令和6年令和7年2月22日(土)は基礎講座3『チーム医療のありかた』、基礎講座4『言語聴覚士のキャリア形成』を講師に小牧 祥太郎氏(学校法人 原田学園 鹿児島医療技術専門学校)をお招きし、ハイブリッド開催(現地+WEB)致しました。

基礎講座3では総数19名(県内現地14名、県内WEB5名)、基礎講座4では総数19名(県内現地14名、県内WEB4名、県外WEB1名)に参加して頂きました。

上記の通り、当日の会場参加者は14名となり、県士会員同士の交流も増えてきており、嬉しく思います。現地かWEBで迷った場合は是非会場まで来て頂けると、新たな出会いや日頃の臨床の悩みが相談し合える場となり、より有意義な時間が過ごせるかもしれません。

基礎講座3では、チーム医療のあり方について、分かりやすく、とても楽しい講義となりました。日頃の臨床でもチーム医療の大切さについて痛感している方も多いのではないのでしょうか。まずは他職種のことを知り、その上でアサーティブな会話ができるのではないかと思います。また、チーム作りの基本的な考え方や災害リハビリテーションについてまで多くのことが学べた研修でした。自己の臨床のみでなく、チーム医療・介護・福祉を考えた言動をしていきたいと思った研修でした。

基礎講座4では、言語聴覚士のキャリア形成について、経験を踏まえて、人生について熱く、楽しく説明して頂きました。STとしてどのような道を選び、今後の人生をどう選択していくか深く考える良い機会となりました。また、働き方改革によるSTの現状やライフワークバランスについても学べ、非常に有意義な研修となりました。県士会員の人生設計が遂行できるように、県士会を上手く利用して頂ければ幸いです。

また、生涯学習として、巻頭言でも紹介したように、今年度より「臨床実習指導者講習会」を実施しております。次回12月開催に向けて準備を進めて参ります。「基礎講座」は年度末に基礎講座5・6を開催予定となっています。



いちき串木野市医師会立脳神経外科センター
リハビリテーション部 尾崎 幸平
TEL : 0993-32-9999
FAX : 0996-32-0496

学術局 (新人教育)

最近、中学1年生向けの数学ドリルを手に取りました。きっかけは、「なぜ学生は勉強をいやがるのだろう」と考えたことでした。私は普段「優先順位!」、「計画的に!」「毎日コツコツと!」と指導していますが、果たして自分は学生の気持ちを理解しているのだろうか。そう思い立ち、避け続けてきた自分の“苦手”に向き合ってみることにしました。

ドリルのページを開くと、そこには「x」や「y」などの懐かしい数字や記号が並んでいました。苦手だった記憶を振り返りながら始めたのですが、やはりいきなり手が止まってしまいました。例題を通して計算のルールは理解したつもりなのに、途中で符号を間違えたり、式がごちゃごちゃになったりする。気づけば手は止まり、「やりたくないな」と心の中でつぶやいていました。それどころかスマホを手に取り漫画アプリを開いていました。そのとき、苦手に向き合うときの“気が重い感じ”や“途中で諦めたくなる感じ”は、実際に課題に取り組んだときに自然に湧き上がる感覚なのではないかと思いました。自分が苦手な問題と改めて向き合ったとき、学生たちが実習や学習で伝えてくれるもどかしさを一気に身近に感じました。

問題が難しいしもうやめようかとも思ったのですが、「このページを終わらせたら東京MERの映画を見に行く」と自分ルールを課して頑張りました。自らを奮い立たせ、解説を読み込んで、正答に辿りついたときには清々しい達成感がありました。小さな式をひとつひとつ整理して、答えがきれいに出了瞬間、思わず笑顔になる。これもまた、講義でのグループワークや実習での小さな成功を報告してくれるときの笑顔の学生の姿と重なりました。

この経験を通して学んだのは、指導者である自分も“学ぶ立場に戻る”ことの大切さです。中1レベルの数学ドリルが臨床に直結することはなかなかないかもしれませんが、不得意にあえて挑むことで、学生の気持ちに寄り添う視野のようなものが少しでも開かれたように感じます。指導の場では、つい「失敗も大事」「とにかくやってみよう」と言いがちですが、はじめの一歩がとても重く感じられることもある。数学ドリルを前にため息をついた自分の姿は、まさに学生の姿そのものだったのではないかと思います。

さて、第26回の新入教育研修会は、苦手な人が多いと思われる脳画像について、米盛病院の熊倉真理先生にご講話をいただきます。基礎的な内容から臨床推論まで、臨床の考え方に大きなヒントを与えてくれる研修会になるのではと思っています。県内外より新人、ベテラン問わず多数のお申し込みをいただいています（詳細は次回のニューズペーパーでの報告となります）。今後も自分自身を学び手として育てる機会に、研修会へ参加いただけると嬉しいです。



学術局 新人教育担当 木佐貫太陽
研修会についての要望はこちら↓まで!
【Mail】 taiyo.kisanuki.st@gmail.com

地域局（始良・霧島地区担当）

平素より鹿児島県言語聴覚士会の活動にご参加いただき誠にありがとうございます。今年度より理事に就任いたしました花見将一郎と申します。理事に就任して数か月経ちますが、右も左もわからないような感じであたふたしております汗。私は前理事の有川さんの後任として始良霧島地区の地域局を担当しており、今は先輩理事の方々からいろいろと教えていただきながら、業務をおぼえていっているところです。まだまだ未熟者ですが、お見知りおきいただけますと幸いです。

今回は、少し地域局のお仕事の話をつつしようにと思います。県士会の公式LINEに登録されている方には、県士会からの研修会の案内やイベント情報等が送られてくるかと思いますが、それを配信しているのが地域局なんです。地域局は5つの地区に分かれていて、その5地区で、月単位の輪番制でLINE配信をおこなっております。これからもみなさんのお役に立てる情報の発信を心がけてまいりますので、興味のある研修会や地域の懇親会など、目に留まりましたらご参加をお願いいたします。そこで、鹿児島県言語聴覚士会では、公式LINEの登録のお願いをしております。今年度から新卒でSTになって間もない方で、登録が済んでらっしゃらない方もいるかと思いますが、もちろん新卒以外の方でも、登録がお済みでない方は、是非登録していただければと思います。LINEの公式アカウントのQRコードをのせておきますので、アクセスしてみてください。今後どうぞよろしくお願いいたします。

一般社団法人フルール
花見将一郎



社会局（地域リハ・広域担当）

令和7年度より社会局地域リハ・広域担当の理事に就任しました向井優善と申します。至らぬ点が多々あると思いますが、県土会の活動を盛り上げて行けるように尽力致しますのでどうぞよろしくお願い致します。

2025年8月10日に地域リハビリテーション活動支援推進のための人材育成事業初期研修をオンラインにて開催し3名の方に参加をして頂きました。講師に米盛病院の石原禎人先生、南風病院の樋渡健太郎先生、鹿児島医療技術専門学校の小牧祥太郎先生をお招きし「地域包括ケア」「介護予防」について講義をして頂きました。私も数年前に研修を受けましたが、改めて講義を聞くとより深く理解することができました。講義以外には地域ケア会議を想定したグループワークを実施しています。少ない人数ではありましたが活発な議論がなされ参加者の方々も良い時間になったのではないかと思います。今回の勉強会は地域リハに従事するための必須研修となっています。初期研修→リーダー研修の順に受講して頂き、その後に地域ケア会議等へ参画できるようになっております。本研修は1年に1回、7月・8月の時期に開催を予定していますので地域リハに従事する予定や希望の方は早めの受講をお勧めします。

現在、国の方針として2025年を目途に「重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるシステム」として地域包括ケアシステムの構築が進められてきました。2025年を迎えた現在、生活支援サービス事業の増加や一般介護予防事業・包括的支援事業が充実してきております。しかし、全高齢者に向けた取り組みとしては十分ではないと思われます。今後、2035年までは後期高齢者の数も増加すると予測されています。また、2040年には医療・介護双方のニーズを有する85歳以上人口が2020年度と比較し1.4倍まで増加すると見込まれております。2025年以降、ますます地域リハビリテーションの需要が高まってくると思われ、地域共生社会の実現に向けた地域包括ケアシステムの深化が求められています。一人でも多くの方に地域リハビリテーションに興味を持って頂き、従事して頂ければ幸いです。



松元病院
向井 優善

社会局（地域リハ・鹿児島市担当）

5月より社会局地域リハビリテーション鹿児島市担当理事を務めさせていただくこととなりました米盛病院の石原です。

皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、国が実現に向けて様々な施策を講じてきた「地域包括ケアシステム」ですが、実現の目標とされてきた2025年を迎えています。要介護状態とならないよう介護予防事業の重要性を謳われてきたこの施策の中で、わたしたち言語聴覚士の果たすべき役割も非常に重要です。高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備とを同時に進めていく会議体である地域ケア会議への専門職としての参加や、介護予防事業の一環である地域住民主体の通いの場であるお達者クラブへの講師派遣等が、これに該当します。

ご存じの方も多いかとは思いますが、鹿児島市が対応しているこれらの介護予防事業に参加するためには、従事者の質を担保するためにも、県士会やPTOTST連絡協議会で実施している研修会への参加が必須となります。しかし、現在、地域からの要望があるにもかかわらず、十分に対応できる言語聴覚士の数が確保できていない現状があります。

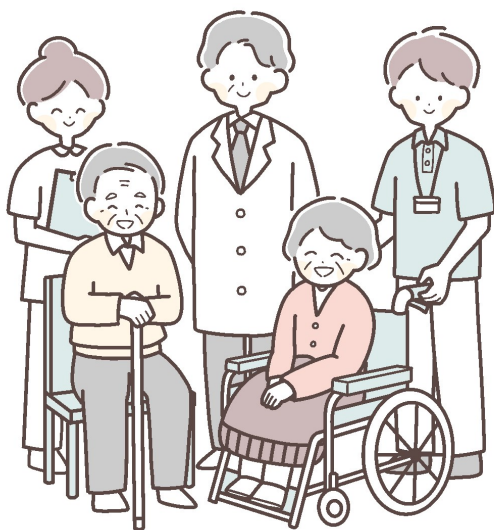
地域で生活する高齢者の方々の要望に応えることができるよう、より充実した介護予防事業が展開できるよう、活動してみませんか？

「興味はあるけどよくわからない」という方もいらっしゃるかもしれません。

ご質問やお問い合わせのある方は、下記までどしどしご連絡ください。

鹿児島の地域リハビリテーションを私たちの力で、もっともっと盛り上げていきましょう！！

社会局地域リハビリテーション鹿児島市担当 石原禎人
お問い合わせ：yishihara@yonemorihp.jp



社会局（公共事業・保険担当）

〔公共事業〕

令和7年度は、鹿児島県介護実習普及センターより、4件の研修会（介護講座）の講師依頼がありました。以下のスケジュールとなっております。

やさしい介護教室F（受講対象：県民向け）2時間

開催日	講座名	会場	講師名
8/29(金)	誤嚥をふせぐ食事の介助方法	カクイックス交流センター	松尾氏
10/17(金)	誤嚥をふせぐ食事の介助方法	カクイックス交流センター	竹中氏

介護職基礎研修D（受講対象：専門職向け）2時間

開催日	講座名	会場	講師名
7/25(金)	誤嚥をふせぐ食事の姿勢と介助方法	カクイックス交流センター	末吉氏
10/30(金)	誤嚥をふせぐ食事の姿勢と介助方法	カクイックス交流センター	黒木氏

〔保険〕

診療報酬に関するお問い合わせは、現在のところありません。今年度に入り、石破政権下で初の骨太方針となる、「経済財政運営と改革の基本方針2025」が6月13日に閣議決定されました。基本的には、岸田前政権の政策を踏襲した経済成長と生産性向上（賃上げ・投資・産業政策）に重点が置かれた内容ですが、地方創世のグラデーションが濃くなっています。当然ながら、医療・介護・福祉の現場に関わる政策が多数盛り込まれています。

この骨太の方針とは、政権が注力する重要課題や政策の方向性を明確にするものであり、翌年度の予算編成に大きく関わる重要なものです。今回、自由民主党、公明党、日本維新の会は、持続可能な社会保障制度の実現に向けて議論した内容を「骨太方針2025」に反映させるため、6月11日に3党合意を行いました。その内容は、「OTC類似薬の保険給付のあり方の見直し」「新たな地域医療構想に向けた病床削減」「医療DXを通じた効率的で質の高い医療の実現」「地域フォーミュラリ（医薬品の使用指針）の全国展開」「現役世代に負担が偏りがちな構造の見直しによる応能負担の徹底」「生活習慣病の重症化予防とデータヘルスの推進」となっています。

現在日本では、少子化・高齢化による、労働力不足や社会保障費の増大が深刻化しており、物価高などの経済的な問題や地方から都市部への人口流出による地域過疎化などの問題が山積しており、政府の動向に国民の関心が高まっています。まずは、10月4日に行われる自由民主党総裁選挙の結果に注目していきたいと思います。

鹿児島県言語聴覚士会お問合せフォーム: <http://st-ba.net/contact/>

医療法人 玉昌会 加治木温泉病院

総合リハビリテーションセンター 末吉 孝行

TEL:0995-62-0001

FAX:0995-62-3778

社会局（広報担当）

◆言語聴覚の日「ことばの相談会」開催◆

言語聴覚士を県民の皆様に広く知っていただくために、広報局では9月1日言語聴覚の日に合わせて、イベントを実施しております。それがこの「ことばの相談会」です。具体的内容は、ブースを設けて相談をお受けしたり、鹿児島県言語聴覚士会のロゴ入り風船や、言語聴覚士に関するリーフレットを配布したり、少しでも多くの方に周知していただけるような活動を行っています。



今年は9月14日(日)にイオンモール鹿児島にて実施させていただきました。今回は広報部員4名、発達部会4名の計8名がご協力してくださいました。いつもご協力ありがとうございます。敬老の日も近く、おじいちゃんおばあちゃんと買い物に来ている家族が多い日でした。子どもたちがキラキラと目を輝かせながら風船を貰いに来る様子がとても愛らしく、微笑ましかったです（親御さんからの視線は冷ややかなものでしたが汗）。



今年の相談件数は8件。お子さんの発音の問題やことばの遅れに対する相談が主でした。また、今年の特色として、「言語聴覚士さんってどこにいるんですか？」や「どこに行けば治療を受けられますか？」という問い合わせがあり、サービスにたどり着けない方々が多くいらっしゃることを感じました。そこで、鹿児島県言語聴覚士会のサイト内、所属施設マップの情報を提供しました。皆さんの地域で、言語聴覚障害でお困りの方からの問い合わせがありましたら、是非ご対応願いたいと思います。

そして、我々583名の会員同士は、顔の見えるつながりをより強化し、まずは互いの施設の情報を知ることが必要だと思いました。さらには県民の皆さまが安心・安全にかつ質の高い言語聴覚療法を受けられるよう我々も臨床現場で日々精進し、準備を怠らぬようにしていきます。



公益財団法人 東風会 三船病院
大島亮平

TEL : 099-247-3016 FAX : 099-247-3068

財務局

会員各位

平素より県士会活動にご協力賜りありがとうございます。財務局担当 無所属 鎮守です。

7月23日に年会費の引き落としをさせて頂いております。ご確認のほどよろしくをお願いいたします。領収書をご希望の方は送付いたしますので、お知らせください。また口座登録がお済でない方は用紙をお送りしますのでまたお知らせいただけますと対応いたします。

財務局 メールアドレス

kago_st@yahoo.co.jp

ご不明な点等ございましたら、お問い合わせください。

よろしくお願いいたします。

担当 鎮守美和



☆編集男紙☆

会員各位

平素よりお世話になっております。いつもニューズペーパーをご覧いただきありがとうございます。

今年の夏も暑かったですね。もう秋のはずなのに・・・まだ暑い！今後、春と秋はなくなっていくのでは？なんてことも。研修や学会は現地開催される機会が増えていますね。研修なんかで県外へ行き、その土地ならではの季節ごとの過ごし方を楽しめるのもまた一興ですよ。さて、学会といえば今年3月に鹿児島で行われた九州地区学術集会。実行委員であった私は、皆で学びあうことができる場を九州のみんなで作り上げることの素晴らしさを身をもって感じました。次回は宮崎で開催予定です。鹿児島大会を盛り上げるために宮崎県からもたくさんのSTが参加してくれました。今度は私たち鹿児島県士会が参加し、九州学会を！宮崎を！ともに盛り上げ、楽しみましょう。

第14回 九州地区学術集会 宮崎大会は令和8年2月28日～3月1日に行われるみたいですよ。楽しみですね☆

編集担当 広報局 大島亮平